

リニア中央新幹線「奈良市附近駅」早期確定への支援

【担当省庁】財務省、国土交通省

①2037年リニア中央新幹線全線開業・「奈良市附近駅」の設置



駅位置・ルートの決定に向け、国として積極的に推進する姿勢を示し、ご支援いただいていることに、心より感謝。

- 「骨太の方針2025」に、最速2037年全線開業という目標を堅持すること及び沿線自治体と連携して、全線開業に向けた環境整備を行う方針を記載
- 「リニア中央新幹線三重・奈良・大阪建設促進連携会議」について、国土交通省とJR東海が正式メンバーとして参加

【本県の基本姿勢】

- リニア中央新幹線の大阪までの全線開業、そして「奈良市附近駅」の設置は、本県の新たな発展の基軸となるもの。

本県は、リニア中央新幹線の整備促進と「奈良市附近駅」の早期確定に向けて、全面的に協力・推進していきます。

- また、沿線自治体としてJR東海が実施する環境影響評価手続を円滑に進めるため想定される課題に対し、先行して検討を進めています。

(参考)「経済財政運営と改革の基本方針2025」(令和7年6月13日閣議決定)

リニア中央新幹線については、(中略)全線開業に係る現行の想定時期の下、(中略)

沿線自治体と連携して、全線開業に向けた環境整備を行う。

【今年度の取組】

- 名古屋・大阪間の早期着工に向けた地域の準備を加速化させるため、昨年度設置した三府県、国及びJR東海で構成する「リニア中央新幹線三重・奈良・大阪建設促進連携会議」にて駅位置確定を含めた全線開業に向けた道筋等を協議する等、駅位置・ルートの早期確定等に向けた取組を推進していくため、引き続き、国のご支援をお願いしたい。

- 本年9月にリニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会総会を開催し、「奈良市附近駅」位置及び三重・奈良・大阪ルートの早期確定、早期事業化に向け、関係者が一致協力する旨を決議。

- リニア建設促進期成同盟会、三重・奈良・大阪三府県建設促進大会等の開催。



令和5年度の奈良県総会にて
リニア実験線試乗を報告



令和7年度奈良県期成同盟会総会



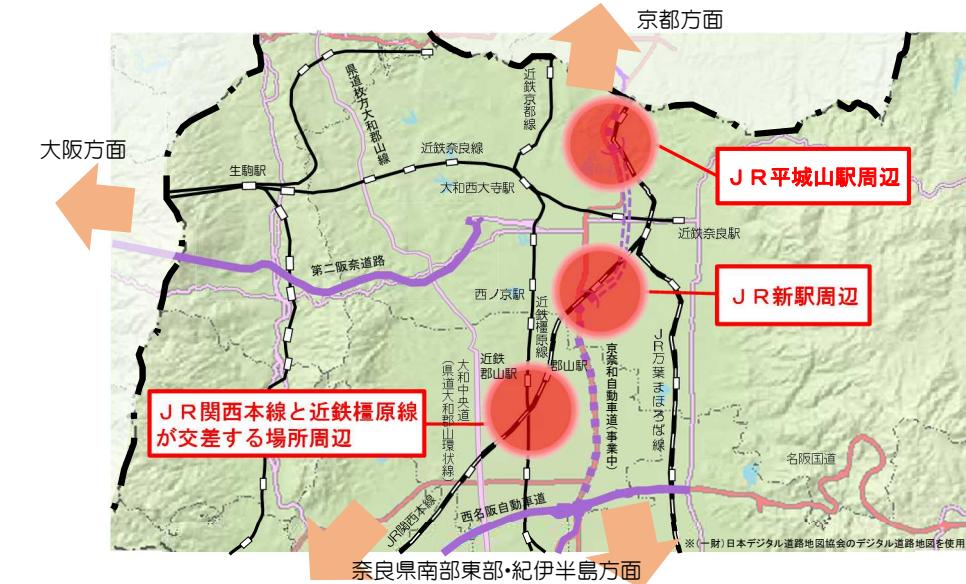
3府県建設促進連携会議

②駅位置・ルートの決定に向けて

- JR東海が県内で実施しているボーリング調査について、県有地の提供を行うなど、密接に連携し、取り組みを全力で推進。
- 「奈良市附近駅」が、
 - 本県全体、ひいては紀伊半島全域のゲートウェイ
 - 大阪・京都を含めた関西のゲートウェイ、となるよう、産業・観光など多方面にわたるポテンシャルや戦略的な活用方策、交通アクセス等について検討を進める。



ボーリング調査の様子
(奈良県内)



奈良県南部東部・紀伊半島方面

※(一財)日本デジタル道路地図協会のデジタル道路地図を使用

国にお願いすること【財務省、国土交通省】

1. 早期に名古屋・大阪間の環境影響評価法に基づく計画段階環境配慮書の公表を行い、「奈良市附近駅」の位置及び三重・奈良・大阪ルートを一日も早く確定すること。
2. 2037年の東京・大阪間全線開業に向け、本県区間を含む名古屋以西区間の工事に早期に着工すること。
3. 車両基地を大阪のターミナル駅の近傍である奈良県内に設置すること。